

第 38 回日韓交流信徒大会 주는 하나 신앙은 하나
감사하는 마음으로 하나님을 찬양하라
「主よ、あなたは私の神」

2024 年 1 月 8 日
神戸国際キリスト教会
牧師 岩村義雄

主題聖句: 「主よ、あなたは私の神。私はあなたを崇め あなたの名をほめたたえよう。あなたははるか昔の驚くべき計画を忠実に、誠実に成し遂げられた」(イザヤ 25:1 『聖書協会共同訳』)。

<序>

ロシア・ウクライナ戦争, イスラエル・パレスチナ戦争, 安倍晋三銃撃事件は宗教か。

「宗教者はどうして戦うのか, 神を信じているといいながらおかしい」, という声をよく耳にします。歴史の中で骨肉を争う中で, はじめて業, 野心, 罪過について浮き彫りにされてきました。そうした刈っても刈っても吹き出す人間凡てがもっている醜悪な性^{さが}を変革する力を宗教はもっています。だからこそ今日まで連綿と敬虔な祈り, 聖性, 霊性が民族, 国境, 言語を超えての導線があるのではないのでしょうか。ローマ・カトリック教会の三代目で育った私は, お正月にお初詣する習慣は大人になるまで無縁でした。中学生の時, 参拝される方の交通整理のボランティアのために神社に行ったぐらいです。年始詣でにみなさまは行かれましたか。そうした初詣も明治中頃に始まった日本列島全体が 100 年以上続けてきた比較的新しい国民行事です。

今日ご出席のみなさまは教会で新年礼拝をなさったことでしょうか。どなたにお祈りなさいましたか。阿弥陀様ですか, 天照大神(あまてらすおおみかみ)ですか。そうではありませんね。天地の造り主であられる主を崇められたことでしょうか。

1 月 1 日以降, 石川県では地震, 延焼によって 128 人が命を潰えました。シリア人から日本でたいへんなことが起こっているとされました。5 日早朝に, 関西空港に第 6 次シリア・ボランティアから帰国しました。その足で能登半島地震ボランティアに村上裕隆代表と一緒に向かいました。現地には, 水道のライフラインがない中で身体から出ていくものを処理できない苦があります。若くて筋肉があれば, 庭かどこかにスコップで穴を掘って解決できるかもしれません。ある方は体力がもうないので。寝たっりの人もいます。さすればひたすら手を合わせるしかありません。行動する宗教者ガンディー, マザー・テレサ, 中村哲医師のような聖人的な動きはどうてい真似できません。ドロ出し, がれき処理, 使えなくなった家具などを搬出はとんでもありません。自助すらむずかしい。若い時のようにモノが持てません。いかに無力か骨身にしみています。息をするのがせいっぱいです。息すらぜいぜいハーハーの状態です。できないづくめです。そんな人間ができることは何があるのでしょうか。手の皺(しわ)を結びつけることぐらいです。皺を合わせるのです, しわをあわせる, 「しあわせ」を噛みしめる瞬間が尊いのです。内面の人が尊厳を維持できるのは宗教性と言えるでしょう。

今日は, 新年にあって, 最終的に達したいところの旅をご一緒に考えたいと思います。

(1) 神との出会い

a. 李基豊¹ (イ・キプン)

韓国人初代教会の牧師について紹介させていただきます。日韓交流信徒大会だからです。

李基豊牧師は、済州島に伝道に行き、そこに9つの教会を建てました。その後、晩年になって、日本の軍部の激しい弾圧を受けて、1942年に、拷問による、殉教の死を遂げました。

李基豊牧師は、いつもこう語っていました。「キリスト者になる前、私はイエス様を迫害する者でした。イエス様や教会を侮辱し、悪口を言う者でした。しかし、イエス様は、私に、悪をもって悪を返さず、侮辱をもって侮辱に報いませんでした。私をキリスト者にしてくださり、そして、牧師にまでしてくださいました。神様は、本当に深く、私を愛してくださいました。こんな神様は、他には絶対にいません」。

李基豊牧師と同じように私たちも「御旨を行うすべを教えてください。あなたは私の神です。あなたの恵み深い霊が平らな地で私を導いてくださいますように」と唱えたいものです(詩編 143:10)。

李基豊牧師の説教を聞いた人は、誰もが、そう感じたそうです。

なぜ、説得力があったのでしょうか。説教を語った李基豊牧師自身が、神様によって、全く変えられていたからです。自分自身の、実体験に基づく、説教であったからです。

かつては、主イエスと教会を、迫害し、侮辱し、悪口を言っていた者が、全く変えられたのです。神様によって、見事に変えられました。その人が、目の前に立って、話しているからです。

b. 宗教者は強い

福音は百万の言葉を語るよりも、主イエスと出会った体験、神様と共に生きている生き方を、示すことによって進展していくものです。

信仰は観念ではありません。聖書を丸暗記したとか、一流大学を卒業して知識があるとか、資格や表彰状をいくつも持っているということには関係ありません。

権力をもっている「お上(かみ)」から脅されたら、たちまちしっぽを振って、「はい、今日からクリスチャンをやめます」と、云うようなビックリスチャンでは困ります。

神の敵対者であるサタンはどのようにしたらクリスチャンから信仰をやめさせることができるか四六時中考えています。正面から迫害、抑圧、兵糧攻めによって教会に行かせまいとする手段を講じるかも知れません。またあるときには、誘惑という手を使います。クリスチャンの一番弱いところを見抜いて間接的におとし入れるのです。お金、名誉、異性などに弱いところをちょこちょこ刺激してくるのです。こわいですね。

初代教会のペトロとヨハネは、議員たちから、「イエスの名によって一切話したり、教えたりしないようにと命じた」と脅されます。(使徒 4:18)。

普通であれば、権力者である官僚、政治家、教育者から脅されれば、皆、従うのです。従わないと、ユダヤ社会で、生きていけないからです。この時も、議員たちは、ペトロとヨハネが、おとなしく従うと、思っていました。上位の権力に、逆らうことができるユダヤ人など、一人もいない、と思っていたのです。

ところが、これに対して二人は、「私たちは、見たことや聞いたことを話さないではいられないのです」と答えたのです。(20節)。

¹ 『李基豊(イキプン)の生涯と信仰一日韓の歴史のはざまに生きて』(李 賜礼 いのちのことば社 2002年)に岩村義雄も寄稿。

b. 観念宗教ではなく体験宗教

主イエスとお出会った体験は勉強したから確信にいたったものではありません。雨あがりの空にかかった虹はすぐに消えます。しかし、私たちの胸の中にかかった虹はいつまでも消えないのです。少々の脅し、中傷や村八分によって神様との関係、つながりの鎖は断ちきれないのです。(ローマ 8:39)。ペトロとヨハネを打ち負かすことができなかつたので、釈放せざるを得ませんでした。

この二人に対して、議員たちが成し得たことは、この世の権力で、もう一度、二人を脅かすことくらいでした。あの手この手を用いて、屈服させようとしても、「神に聞き従うより、あなたがたに聞き従うほうが、神の前に正しいかどうか、ご判断ください」とひるまずに告白します。(19 節)

聖書には権力の脅しに屈服せずに信仰を貫いた記録があります。

今の時代、とりわけ日本では宗教、教会、聖書に対するいやがらせ、白眼視、偏見はますます増えてくることを覚悟しなければなりません。「キリスト・イエスにあって敬虔に生きようとする者は皆、迫害を受けます」には、「皆」と書かれています(Ⅱテモテ 3:12)。例外はないのです。なんだキリスト教信者になるとしあわせになるのではなかつたのか、それじゃ「やんぴ」と教会にぴたりと来なくなる方がいるかもしれません。どうしてですか。「我と汝」の関係、神様と直結していないからです。簡単に破断してしまいます。成田離婚みたいなものです。ジャンジャラジャー、ジャンジャラジャーと豪華なウェディングセレモニーが終わって、ハネムーンから飛行場へ戻ったが最後、それっきりとなるような具合です。バブルの 1990 年代頃からスピード離婚が言われ出しました。

そうです。神様に万歳と両手をあげて、喜ぶだけではなく、自分の自我をも降参して、両手をあげて明け渡す転換点を通過することがあるかないかが問われています。受洗前に聖書のお勉強を 2 年もしたとか、この教会の牧師先生とは気が合うというか、なんかうまくやっていけそうとか、あんな素敵な先輩クリスチャンがいる教会なら通うのも楽しみという動機は直接の迫害、間接的な誘惑で負けてしまうものです。聖書にはそうした失敗のドラマがいっぱい描かれています。モーセはエジプト人を殺した。ダビデ王はバテシバに横恋慕し、夫のウリヤを戦地に送り出したとか、パウロとバルナバは論争したとか、失敗談にことかきませんでしょ。

李基豊牧師も、韓国で同じ様な弾圧に遭い、厳しい拷問の末殉教しました。

弾圧記念聖会で、よく語られるエピソードがあります。

戦前の燈台社の明石順三²という信仰者は、天皇制国体を真っ向から否定しました。

裁判長「然らば被告は……、天皇陛下及皇族の尊厳性を認めておったか」

被告明石「尊厳神聖と云うような事は全然認めません」

裁判長「天皇陛下の御地位に就いてはどうかね」

被告明石「天皇の御地位等は認めません」

再臨信仰を堅く信じていたホーリネス教会や、セブンスデー・アドベンティストだけではありません。いずれのキリスト教会も天皇を現人神として認めないために、獄死者を出しています。だが天皇制国家とむきあい、国家を恐れずに戦ったためではありません³。

² 拙論『2023 年度春学期の「現代キリスト教弁証学」』(中央聖書神学校 Central Bible College 27 頁)。

『福音と世界』(笠原芳光 1973 年 8 月号 38 43 頁)。『キリストの証人たち—抵抗に生きる 44—』(四龍揚、関田寛雄編集 日本基督教団出版局 1974 年 102 133 頁)。『神戸と基督教』吉野丈夫 神戸キリスト教書店 1987 年 216-224 頁)、『戦時下抵抗の研究 1』(佐々木敏二 同志社大学人文科学研究所 1978 年 93 139 頁)、拙稿『神戸と聖書』(岩村義雄 神戸新聞総合出版センター 2001 年 211 212 頁)。

³ 『嵐の中の牧師たち』(辻 宣道 新教出版社 1992 年 188 頁)。

明石順三は神社参拝や天皇信仰を拒んだだけでなく、天皇制国体をも徹底して否定しました。治安維持法違反で懲役 10 年を宣告されたのは、明石ただ一人だけでした。

今のところ、私たちは、このような弾圧や迫害を、経験していません。しかし、平和国家として戦後歩んできた日本、世界に暗雲がたれこめるようになってきました。

(2) 権威者(エクスーシア)の狙い

a. 憲法を無視する

平和のため武器を取らないという先人の系譜が 2023 年 12 月 20 日、破れました。三菱重工業などのパトリオットを米国に輸出することになりました。日本製の武器です。米国へのパトリオット提供は米国がウクライナに供給することにつながります。

神戸国際支縁機構の「カヨ子基金」はアフリカのモロッコ、シリア、中東に孤児の施設をつくりに出かけました。入国が困難な紛争地帯、イスラエルからの攻撃されている地域などでも日本国憲法の武力を行使しないという平和主義がこれまであったからこそ、人道目的ゆえにジャーナリストですら入れない国々に入国が可能でした。しかし、今後は拒絶されるかもしれません。戦前・戦時下のメディアは天皇の国体を絶対視していました。戦後は「対米従属」がとって代わりました。「憲法 9 条をノーベル平和賞に推す神戸の会」(略称 推す会)の芦名定道常任委員は対米従属への無批判が戦争への道だという危険性に覚醒しなければならないと話されました。メディアが戦争協力する姿勢は洋の東西を問わず変わっていないのです。山上徹也容疑者(42 歳)によって銃撃された安倍晋三首相は「俺の考えを知りたいければ、読売新聞を読め」と言っていたくらいです⁴。

今回の武器輸出の政府判断は危険信号です。諸外国の目には日本は戦争できる国へと変貌したと映っているでしょう。日本も「敵基地攻撃能力(反撃能力)」, 軍備増強に舵を切っています。

b. 無宗教と「無」宗教の相違

政治家不信で総理の支持率が下がっているとはいえ、宗教 2 世問題などの報道をエスカレートさせて、非宗教国へとまっしぐらに進める権力者たちの企みを見破る冷静さが必要です。

不敬事件で、内村鑑三[1861-1930(昭和 5)]を糾弾した文部省の井上哲次郎[1856-1944]の狙いはキリスト教を「非国家主義」として排撃し、「国家主義」を唱導することでした。おかげでほとんどの日本人は自分のことを無宗教と応えるようにエクスーシアによってマインドコントロールされてしまいました。無宗教(非宗教)は為政者の狙い通りです。良心より「お上(かみ)」の命令、法律、規則が正義になるからです。

キリストは「かえって自分を無にして 僕の形をとり人間と同じ者になられました」(フィリピ 2 章 7 節)。「無」になられたのです。差別、搾取、抑圧するエクスーシアとは一線を画しました。そしてだれがキリストに付いて行きましたか、「無に等しい、小さい、貧しい」人たちです。(コリント前 1 章 28 節)。「無」に等しい者たちは、無宗教ではありません。キリストに自分を明け渡した「無」宗教の強靱なしなやかさが求められる時代に突入しています。

グローバル産業、軍需による死の商人、経済格差によって踏みにじられている被災者たち、戦地の女性や子どもが「主こそ神、主が私たちを照らす」(詩編 118:27)と告白できるように祈りましょう。

「地球温暖化の時代は終わり、地球沸騰化の時代が訪れた」と国連のグテーレス事務総長が昨年

⁴ 『読売新聞』(2017 年 5 月 3 日付)。

7月に警告しました。AI(人工知能)が発達して、人間ではなく遠隔操作によって戦争ができる技術が開発されています。9・11 テロの直後、アフガニスタンでピンポイント爆撃がありました。誤爆により、孤児、戦争や被災により夫をなくした女性、寄留者たちに寄り添うために神戸国際支縁機構は発足しました。今、AIは核兵器に続く「第3の軍事革命」と言われています。味方の危険がなくなり、敵の民間人被害も回避できるというのです。ガザやウクライナで、AIを用いてクラスター弾、劣化ウラン弾、パトリオットによる戦争をしかけるのです。

自己救済で満足する信仰であっていいものでしょうか。

c. 自発性

聖書の「ローマの信徒への手紙」13章1節に、「人は皆、上に立つ権力に従うべきです」と書かれています。では、上に立つ権力に、素直に従順に従うことはよいことなのでしょうか。法律を守ること、学校の先生の言われることを守ることを、それが立派なクリスチャン、宗教者だと、聖書は述べていると考えるのが正しいのでしょうか。

知識の詰め込み、長時間の教育、電子機器による受身の学びでは、人間性は育まれません。たとえば、かつて野球の体罰、時間過多の練習、坊主頭が当たり前でした。やらされるより自発性⁵に切り替えてみます。すると高校野球でも長髪の学校は今では珍しくなくなってきました。指導者に忠実な選手の受け身型の性質から脱却のきざしでもあります。

輪島、珠洲市、能登半島の人々やパレスチナのガザの人々に寄り添うにしても、上位の権威、「お上(かみ)」、権力者(エクスーシア)は非人格的な合法性による支配、合理的につくられた制度の「権限」、義務・服従を要求します。パンデミック、紛争、ジェノサイドについても国際機関、超大国、世界は貧者、孤児、寡婦を解放できませんでした。

2020年7月4日(土)午前ニュースで、球磨川氾濫のニュース。神戸国際支縁機構は同日に芦北町役場に到着しました。熊本県内の犠牲者は65名。うち50名(77%)が球磨川流域です。その4年前の熊本・大分地震(2016年4月14日、16日)の時も愛児園で炊き出しをさせていただきました。千葉県布良(めら)2019年9月9日台風15号のためほとんどの屋根は吹き飛びました。過疎、高齢化、少子化のこれらの地域は、今や限界集落⁶です。

「人間に頼ることはやめよ 鼻で息をするだけの者に。人に何の値打ちがあるのか」(イザヤ 2:22)。

(3) 『エロイ、エロイ、レマ、サバクタニ』

a. 「エロイ・エロイ・ラ・サバクタニ」はアラム語

「三時にイエスは大声で叫ばれた。『エロイ、エロイ、レマ、サバクタニ。』これは、『わが神、わが神、なぜ私をお見捨てになったのですか』という意味である」(マルコ 15:34)。

アラム語はアラム人が話した言語です。中東は、多様な民族が変遷して支配者が変わってきました。『死海文書』(旧約聖書などの写本)でもアラム語が用いられています。アラム文字を母体として

⁵ 「オートミー ギリシャ語(オートノミア *autonomia* <自主性・自立性の意>) 自主的判断権「自分で自分に自身の法を与える者」(自主・自律・自立, 自治, 自治権, 自主権, 自己決定権など)。

⁶ 「限界集落」は国の調査で全国400か所以上。東北地方は50か所と中国・四国地方に次いで人口減少が深刻な過疎地が多く、集落維持のコストが課題である。

ヘブライ語も誕生しました。ヘブライ語は母音がないこと、右から左に書くのもアラム語の影響です。アラム人は紀元前 10 世紀、ダマスカスを首都にして約 300 年間アラム国を築きました。アッシリアに滅ぼされても、アラム語はアッシリア、バビロン、ペルシャ帝国における中東一帯の共通語になりました。ヘブライ語は紀元前 3 世紀以降には使われなくなっていました⁸。キリストはユダヤ人にはヘブライ語、オクロス(民)にはアラム語で話された。映画『パッション』では一貫してアラム語で話されています。3 世紀にはアラム語はシリア語として知られるようになりました。アラムについて、『セプトゥアギンタ訳』[ギリシャ語(翻訳)旧約聖書]では、スリア(シリアのギリシャ語読み I 列王 10:29)と訳されたりもしています。エデッサを中心に 3 世紀から 13 世紀まで 1000 年間シリア語が中心でした。7 世紀イスラーム教徒のアラビア語が優勢になり、シリア語はアラブ・オーソドックス(東方正教会)の信徒たちの間で継承されました。

シオニズム運動⁹の高まりでヘブライ語は復活し、現在ではイスラエル国の公用語となっています。古代ヘブライ語の角文字をそのまま復元して用いるようになりました。

b. ガザ, ウクライナや能登半島の暗闇

無神論の方たちは「神も仏もない！」と平然とおっしゃる場合があります。

パレスチナは種子島ぐらいの面積に 210 万人ほどが押し込められてきました。イスラエルは包囲し、人っ子一人そこから出られない上に、電気、水道などのライフラインを停止しました。

パレスチナ自治区ガザ地区では、イスラエル軍の攻撃による死者が 2 万人¹⁰を超えたと発表しました。病院に搬送されて確認された死者数です。このほかに 6700 人ががれきの下に埋まるなどして行方不明です。負傷者が 5 万 2600 人としています。死者のうち 8 千人は子供だといいます。命が軽視されています。

兄弟国同士であるロシアとウクライナ、イスラエルとパレスチナがいがみ合い、殺し合い、傷つけ合っています。皆さんは直感で、また歴史の中で嗅ぎ取っておられるのではないのでしょうか。

前近代的に、領土で国家を考えるとときに、人類の歴史は、絶え間ない紛争を繰り返してきた事実があります。

みなさんにお会いする前に石川県輪島市河井町の朝市通りにおりました。何もたいしたことはできていません。今朝の新聞によりますと、死者 128 人、安否不明は 195 人です¹¹。珠洲市の住民の半数以上を高齢者が占め、生き延びることすら危ぶまれています。上戸町南方アにお住まいの広谷清治&順子ご夫妻が極寒に耐えておられます。必要なものについては、水と食料に加えて灯油などが急がれます。反射式灯油ストーブ1つで暖を取っておられます。1日何時間も使うことができません。貼るカイロと厚着で寒さとの戦いです。

⁷ 現在シリア国の首都。シリア(アラム)地方の中心地。アブラハムも侵略者を追い払った記録がある(創世記 14:15)。紀元前 1200 年頃、ヒッタイト王国が衰微してからアラム人が王国の中心地にした。聖書には何度も登場する地名。パウロはダマスコに行く途上でキリストに出会った。(使徒 9 章)。『旧約新約 聖書大事典』(レオンハルト・ロスト 教文館 1989 年 78 頁)。

⁸ 『文字の歴史』(ジョルジュジャン 矢島文夫訳 創元社 1998 年 58 頁)。『初期アルファベット』(ジョン・ヒーリー 竹内茂夫訳 学芸書林 2000 年 54-59 頁)。『イエスは何語を話したか?』(土岐健治, 村岡崇光 教文館 2016 年 110 頁)。

⁹ シオニスト(シオニズム: 世界各地に離散していたユダヤ民族が、母国への帰還をめざして起こした民族国家建設運動)たちが 19 世紀末に起こした運動。1948 年 5 月 14 日のイスラエル建国への牽引力になった。

¹⁰ 『朝日新聞』(2023 年 12 月 22 日付)。

¹¹ 『神戸新聞』(2024 年 1 月 8 日付)。

c. 宗教こそ光をもたらす

輪島の被災者は、「お先真っ暗です」とおっしゃいました。「昼の十二時になると、全地は暗くなり、三時に及んだ」にあるように「全地は暗くなり」ました(マルコ 15:33)。1000年にわたる海鮮、漆器、観光の地から活気、明るさ、威勢のよい呼び込みが消えました。暗い人類の世を変えるためにイエスは述べました。「父よ、今、御前でわたしに栄光を与えてください。世界が造られる前に、わたしがみもとで持っていたあの栄光を」もって世にともしびをもたらすために自分を「無」にされました(ヨハネ 17:5)。そしてアラム語で、「三時にイエスは大声で叫ばれた。『エロイ、エロイ、レマ、サバクタニ。』これは、「わが神、わが神、なぜわたしをお見捨てになったのですか』という意味である」(マルコ 15:34)。

戦地や被災地、スラム街でまったく見捨てられた状態の人々に私たちは感情移入するセンサーを働かせていることでしょう。逆境にある人たちは見捨てられていません。なぜならそんな人たちのために神はイエスを見捨てられたのです。つまり闇に呻いている人の代わりに独り子なるキリストは釘付けの極刑を受けたのです。歴史上最も残酷な処刑方法です。両足を2頭の馬で引き裂くことなど、極刑は掃いて捨てるほどありました。ほとんどはひと思いに殺す方法です。ローマ帝国の死刑は生殺しであり、一週間ほど息している状態に追い込みます。体重の重みで肩が脱臼し、肺で呼吸することもできない苦しみを味わい、「深く嘆き、涙を流しながら」(ヘブライ 5:7)、殺されました。そんな御子の残忍な死によって私たちのすべての絶望、苦悩、痛みの身代わりとなりました。

私たちは人生の中でもだえ、苦しみ、怒りに身を震わせる時があったでしょう。しかし、キリストと出会って人生は180度変わりました。「だから、誰でもキリストにあるなら、その人は新しく造られた者です。古いものは過ぎ去り、まさに新しいものが生じたのです」(Ⅱコリント 5:17)。めそめそ、くよくよし、いつも悲劇のヒロインであった古い人格から変えられたのです。「キリストにあるなら」、生き方が変革されるのです。

輪島でお会いした新藤豪牧師も食べるものに事欠いておられます。「たいへんでしょう」と申し上げても「必要なものは備えられています」と応答なさいます。避難所には食料があるからとあつけらかんにおっしゃいます。逆境にあっても明るく、他者に対して気づかいを示す隣人愛の香りを放っておられます。どうしてでしょうか。キリストに出会ったからです。

「あなたは私の神。あなたに感謝します。わが神よ、あなたを崇めます」と朝目覚めた時、神と共に生きている恵みを感謝するのです。(詩編 118:28)。

「主よ、あなたは私の神」といつも唇から感謝、よろこび、賛美の霊のいけにえが出てくる人生に変えてくださった恩寵をご一緒に分かち合えることに「皺を合わせ」ます。

